

SMIインタビュー



常盤木学園高等学校

教諭 サッカー部監督 阿部 由晴 氏

(ききて) 株式会社サクセス・アンリミテッド仙台

チーフモチベーター 倉林 大作

倉林：全日本女子ユース選手権大会3連覇おめでとうございます！

阿部：ありがとうございます！

倉林：これで日本一は何回目ですか。

阿部：冬に行われる今大会はクラブチームも合わせて18歳以下のすべてのチームの大会ですが、夏の高校生で行われる大会も合わせると5回目になります。

倉林：阿部監督はSMIをご採用されたのはいつ頃ですか。

阿部：17年前です。当時は前任高で陸上の指導をしていました。

倉林：サッカーではなく、陸上ですか？

阿部：はい、陸上です。通信制の高校で、3年目でおかげさまで日本一の種目を6種目だし総合で全国優勝を達成しました。その後、94年に生活指導でお声がけいただいた常盤木学園に赴任しました。当時は同好会があって数名の部員がいましたが、すぐに辞めてしまい、新入生5人だけが残りましたが、そこから本格的なスタートでした。グラウンドもなかった状態ですが、この頃から「日本一になる！」とっていました。

倉林：5人でグラウンドもなかった頃に日本一、すごいですね。しかしサッカーは11人でやりますよね。

阿部：当時は、よくバカにされたり、白い目で見られたりしていました。大会には、部活をやっていない生徒に声をかけて試合に出たこともあります(笑)。何とかやりくりしながらやってきて、2002年に高等学校女子サッカー選手権で優勝し、その後準優勝を4年連続続けていく中で力をつけてきました。

倉林：日本一と大きな目標は掲げながら、現実には5人ですから相当な苦労だったのではないかと思います。SMIはどのようにお役に立ちましたか。

阿部：SMIを通して目標設定をすることにより、目標が明確になり、ゆるぎない確信ができたことです。まずイメージが大事。後からプロセスはついてくる。そこを耐えれば良い結果は必ずついてきます。

倉林：その確信が持てたのはいつ頃ですか。

阿部：部員が5人のスタートした頃の頃です。何もない時、苦しい時に確信が持てるかどうかは成功の秘訣ではないでしょうか。成功者は皆、どん底の

時にも自分の成功を確信しています。あらゆる条件がそろっている時にも確信では弱いと思います。

倉林：確信が成功の秘訣ですね。

阿部：今年は選手が良いから勝てそうだけではダメなんです。選手がどうかではなく、目標への確信を自分自身もってやっているかどうか。いつ確信をもったかが大事で、本当に苦しい時に確信が持てるかどうかですから、今の時代は本当にチャンスなんですね。私は、自分自身が本当に大変な時にSMIと出会ったので確信を持つことができました。

倉林：んー(唸り)。選手が、社員が、スタッフがではなく、リーダー次第なんですね。これからはどんなことを描いていらっしゃるんですか。

阿部：いつも思い描いていることですが、例えば、教え子の子供が日本代表に選ばれ、控え室で母親の話になった時に、代表選手の半分以上の選手の母親が常盤木出身の母親であったことが控え室で話題になって試合前にその話で持ちきりになり、そしてあれよあれよとW-CUPで優勝してしまう。と言ったようなイメージを描いています。自分の未来に希望を持ち、またそんな子供たちを育てる「良いお母さん」になれるように生徒を育てていきたいと思います。

倉林：そのための一つが阿部監督が大切にしているあなた株式会社なんですね。

阿部：そうです。生徒には自分自身には無限の可能性があること。そして自分自身の能力をいかに活用するかで人生が変わっていくことを学んで欲しいと思います。サッカーで優勝することが目的ではないので、卒業した後ももっと素晴らしい人生を歩んで欲しいと思います。そのためには自分のお金と時間をどう投資するかが大切なので、倉林チーフに定期的に来ていただいてお話を聴き、自分のお金、時間を費やす大切さを学んでほしいです。

倉林：私も熱心に、純粋に学ぼうとする生徒の姿に学ばせていただいています。今後も益々強いチームをつくっていただき、多くの皆様に希望を与えてください。今日はありがとうございました。

阿部：こちらこそありがとうございました。